

## はちぶオンブ

団体名 ZOKEI音楽隊

代表者名 大貫竜平

### ①事業内容

美術大学の技術を地元還元する形を探す上で、地元PRの動画を制作する事業を考案。

企画の特徴として、動画は八王子市の人に素材を集めてもらうことで、市の人も地元PRに参加できるという利点を考案した。

その上で、より八王子市民が素材を投稿しやすいよう、動画の内容は「音」に注目した内容にすることにした。

また、制作した動画はweb上にて公開した。



### ②実施報告

動画は、八王子市内の「音」に注目し、音をつなぎ合わせて一つの音楽にし、その撮影時に収録した映像を起用し、八王子のPR動画を制作した。

事業の大きな活動として、二回動画を制作した。一方は告知用の動画であり、もう一方は、告知した上で、素材を集めて制作したものである。告知用のスタートアップ動画は、8月に開催された八王子祭りの様子を動画で撮影し、適宜その音をつなぎ合わせて、曲を作った。曲は、なるべく収録した音が目立つように工夫しながらも、ピアノの音を基調にし、どんな人でも聴きやすいようなバランスを取った。

11月には、予め制作したフライヤーを利用し、八王子商店街を中心にフライヤーによる告知を行った。



制作したフライヤー

そして二回目の動画には、大晦日に高尾山に向かい、初日の出をテーマに撮影を行った。ここでは、実際に八王子市の人にももらった素材を利用し、曲の制作を行い、制作した動画はYoutube上に公開した。

③制作を通し、動画の感想として、音を通して人の中の記憶や創造を引き立て、地域性をアピールすることができているため、大変良いと好評価をいただきました。また、完璧に企画を完遂させる場合、広報力も非常に重要なのだなと思いました。また、作曲を触ったのも初めてだったので、作曲のノウハウを多く覚えました。これは人によるとは思いますが、思ったようなメロディを作るのにはまず思ったような音を作ることが大切であり、そのためには思ったような音を作る音の波形の知識とツールに対する知識が必要となることを覚えました。また、今回のようなフィールドサンプリングを行う場面では、収録する際にもより静かな環境で、音単身だけの素材を収録する必要性を強く感じました。一方、そういった収録、作曲技術を試行錯誤する上で、こういった環境音を多く使う作品では、周囲の雑踏などの音も音楽の一部に十分になりえるのだなと思いました。加えて、予算管理などを行う局面も初めての経験であったため、領収書の出し方を調べたりなど、多くの事を学びました。